

高齢者の自立と健康

スウェーデンに学ぶ高齢者の自立

高齢者が自立し豊かに過ごすスウェーデンの事例から、健康でアクティブなセカンドライフのあり方を学ぶ講座

プログラム概要

急激に超高齢社会を迎えた日本の医療・看護・介護の現場では今、さまざまな問題が噴出しています。講師の藤原瑠美さんは、2005年から3年にわたりスウェーデンと日本を往復、一つの地方都市に分け入り、その社会づくりをマネジメントの視点で克明に取材して、一冊の本にまとめました。今回のプログラムでは、エーデル改革（1992年の医療改革）をスウェーデンの中でもいち早く軌道に乗せたその地方都市が、医療より社会政策で高齢者を元気にした姿を具体的な事例を盛り込んで紹介します。健康に老いる秘訣をスウェーデンから学びましょう。

第3回 税金とセーフティネット

2009年10月8日（木） 18:30～20:00（受付 18:00～） 霞が関ナレッジスクエア【スタジオ】

「スウェーデンの高齢者福祉が手厚いのは高負担のため。消費税を25%も払うから」といわれて久しいです。たしかに市民が払う税金は日本に比べて高いのですが、消費税は高齢者福祉に直接使われていません。それは市民税でまかなわれているのです。消費税は国に集められ、国民の二割に相当する高額所得者が払う国税や企業税などとともに、社会保険給付として再分配されます。今回はスウェーデンの税制の正しい理解と、日本の政治を理解するために役立つ、低所得でも安心して老後をおくれるセーフティネットのお話をしたいと思います。

セミナーでは、参加者のみなさんの携帯電話を使用して講師からの質問や、アンケートに回答していただきます。講師への質問も可能です。集計結果はリアルタイムに発表されます。



スウェーデンに学ぶ高齢者の自立 全4回シリーズ

- 第1回 スウェーデンの高齢者の自立した暮らしを知ろう ※終了しました
- 第2回 在宅と施設 最新の介護現場情報 ※終了しました
- 第3回 税金とセーフティネット 【10月8日（木）18:30～】
- 第4回 医療に頼らず長生きをする秘訣 【11月12日（木）18:30～】

講師紹介



藤原 瑠美 氏

＜略歴＞ 福祉の勉強会「ホスピタリティ☆プラネット」主宰
1947年 東京大田区に生まれ
1968年 清泉女子大学英文別科卒業、銀座和光に入社 同社宣伝企画部副部長、婦人用品部部长、広尾店店長を務める
2000年 銀座和光退社 在職中1990年より認知症の母の在宅介護を続け、2000年10月に自宅で見取る。
2005年～2007年 スウェーデンエスロプ市の高齢者ケアを取材
＜著書＞ 『ボケママからの贈りもの 一働きながらの在宅介護の記録』（PHP研究所1995年 2002年に文庫化）
『残り火のいのち 在宅介護十年の記録』（集英社新書2002年）

「ニルスの国の高齢者ケア
～エーデル改革から15年後のスウェーデン」 [著：藤原 瑠美 2009.4 発売 ドメス出版]

を一読されるとプログラムを一層楽しめます。

国際医療福祉大学大学院教授・元朝日新聞論説委員 大熊由紀子

11年間の在宅介護体験からにじみ出る細やかな視点、管理職経験者ならではの経営的な視点、超高齢化社会の難問を解決する智恵と提言がぎゅっと詰まった、誰も書かなかった凄い本です。



日時 2009年10月8日（木）18:30～21:00（受付時間18:00～）
18:30～20:00 セミナー
20:10～21:00 懇親会

定員 ・会場受講 50名
・ライブ配信受講 100名まで
（メンバー向け：受講費 無料）
（視聴環境については、お問い合わせ下さい）

費用 受講は無料です。
*懇親会参加費は霞が関ナレッジスクエアメンバーが2,000円、WEB会員及び一般の方が2,500円です。

申し込み方法 WEBサイトで、お申込みを受付中。
*お申込みには無料WEB会員への登録が必要になります。

開催場所 霞が関ナレッジスクエア

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート ショップ&レストラン西館3階



・銀座線
「虎ノ門駅」11番出口より徒歩1分
・丸ノ内線 / 千代田線 / 日比谷線
「霞が関駅」A13番出口より徒歩6分